

市民ネットワーク所沢からのお知らせ

◆DVD鑑賞「チェルノブイリ 30年視察」
& 福島南相馬放射線測定報告
12月25日(日) 13時～
15時～年忘れ交流会
どなたでも大歓迎。差し入れ大歓迎。
今年のうっぷん(?)語り合ひましょう!

他団体からののお知らせ

◆地域猫対策パネル展

11/29(火)～30(水)
10時から16時まで
所沢市役所一階ロビー
主催 所沢ねこのネットワーク
協力 NPO ねこだすけ
所沢市生活環境課



* 飼い主のいない猫の相談も受けます。

◆ウクライナの子どもたちへ送るクリスマスカードを作ませんか?

1990年以降、チェルノブイリ被災地であるウクライナの子ども達にクリスマスカードを送り続けているチェルノブイリ救援・中部に協力してカードを送ります。ウクライナからも福島県にカードが送られてきています。カードはウクライナ又は福島県南相馬市の子ども達に送られます。是非、カード作成にご協力をお願いします。

11月22日(火) 10時～12時
11月25日(金) 13時～15時
ネットワーク事務所

* カードの材料はこちらで準備します。
材料をお持ちの方はご持参下さい。



あとかぎ

今年は、春先の熊本地震、岩手の大水害、鳥取の地震など多くの災害が発生し、そして地元所沢で予想さえしていなかった水害に見舞われました。被災された方に心からお見舞いを申し上げます。改めて日ごろから災害を想定し、自分でできること、近所や友人とできることなど、心配りし準備が必要なことを肝に銘じました。

市民ネットワークは市民の視点から課題解決を目指します。皆様の身の回りや暮らしの中で、これはどうなっているの?これはおかしい! などどうぞお声をお寄せ下さい。

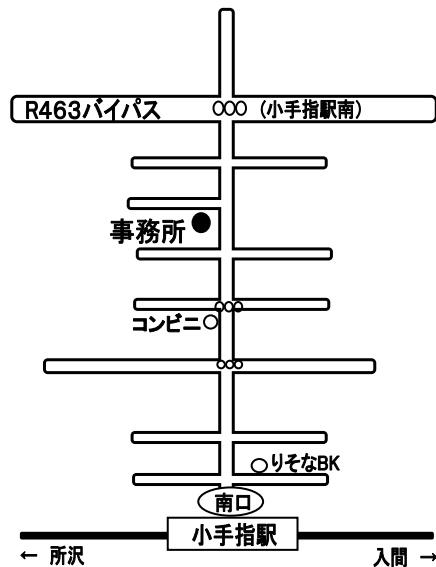
市民ネットワーク所沢 代表 大輪絹子

【お問い合わせ・連絡先】

※常駐していません。留守電・FAX でお願ひします。

- 住所 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル1F
- 電話・FAX 04-2947-6370
- メール prinmint@shore.ocn.ne.jp (末吉)
cnet-toko@net.email.ne.jp (事務所)

- ◆ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。
年会費 1,500円 郵便振替口座 00160-6-179015
- ◆この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。
購読ご希望の方は定期的に郵送します。
どうぞご連絡ください。



市民ネットワーク <http://tokorozawa-net.com/> NO. 81 (2016. 11)

ところざわ通信 Net

発行: 市民ネットワーク所沢 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B
TEL/FAX 04-2947-6370 メール: cnet-toko@net.email.ne.jp



視覚障害者向け信号機から考えるバリアフリー

所沢市議会議員

末吉美帆子 (健康福祉常任委員・広聴広報委員)

小手指の押しボタン式信号機が使いづらいという視覚障害者の声を友人を通して聞き、改善したことがあります。「音が小さく、怖いので車の声を確認しながら恐々渡っています」の声に胸が痛みました。

視覚障害者向け信号機は、鳥の鳴き声やメロディで歩行の安全を知らせる「視覚障害者信号機」そして『信号が青になりました』という音声で案内する「音響装置式信号機」の二種類です。所沢市内には視覚障害者用信号機が61箇所、音響装置式信号機が8箇所あります。

メロディに規則はありませんが、埼玉県警察では今後「異種鳴きかわし方式」に統一していく方向です。(交差点のこちら側と対岸側で時間をずらして鳴らす。例)こちらカッコーカッコー 対岸カッコー 交差点反対方向 こちらピヨ 対岸ピヨピヨ)

東京オリンピックを視野にタッチパネル型信号機導入が検討されていますが、埼玉県ではまだ動きはありません。

身の回りを見ると、点字ブロックから数メートル離れた所に押しボタンがあるなど利用者視点からかけ離れた信号機が多数あります。

平成15年警察庁通知によれば「視覚障害者団体

など当事者の意見を聴く」とありますが、利用者の意見はきちんと反映されているのでしょうか。

所沢市では今後、障害者差別解消条例の策定を始めます。当事者意見をしっかりと聞き、情報収集し条例に反映させてほしい。視覚障害者用信号機改善を含めソフト・ハード両面からバリアフリーを実現してほしいと思います。

障害のある方もない方も幸せに暮らせるまちであるよう、気づいた所から改善の声を上げていきましょう。とともに困った人がいたら「手伝えることはありますか?」と声をかけ合う「人のバリアフリー」も広げていきましょう。



航空公園駅前 点字ブロックから離れた押しボタン

末吉美帆子
平成 28 年9月議会
一般質問



一般質問

◆みんなでつくる総合計画を

- ・人口減少要因とソーシャルデザイン
- ・2060年所沢の人口は何人？
- ・幸福像を示すビジョンづくり
- ・みんなでつくる総合計画(高知県佐川町)

◆低所得者への医療保障

- ・無料低額診療事業について

◆バリアフリー社会の構築へ

- ・音響装置式信号機から考えたバリアフリー
- ・認知症サポーターの現状とステップアップ講座
- ・あいサポーター(障害者支援)の導入は？

◆防災

- ・福祉避難所の現状と課題
- ・ローリング備蓄(備蓄品を消費して廃棄なし)
- ・毛布の備蓄を

◆所沢市墓地条例について

- ・墓地使用状況等の把握について

質問

所沢市の合計特殊出生率は 26 年 1,23(全国 1,42)若年女性(20~44 才)の既婚率は 57,4% (全国 57,6)どちらも平均以下です。

所沢市は現在、特殊出生率目標を 1,26 と見込んでいます。仮に所沢を「100 人の村」と仮定して 1,26 で推移すると 2060 年には「76 人の村」になっています。目標を達せず 1,00 だと「70 人」何と3割が減ります。しかし所沢市が 2060 年に最終的に目標としている 1,8 を実現できれば「88 人の村」になります。社会を変えれば未来は変わるのです。

大都市圏において既婚率、子育て層女性の満足度は低いのです。育児する世代への社会資本整備と支援が必要です。安心して働き、生活し、子どもを生み育てられる政策が最重要な課題です。

高知県佐川町では若い世代を含めた「みんなでつくる総合計画」を作り全戸配布しました。今後作る所沢市総合計画も市民参加と策定後も参画していける仕組みづくりが大切です。

回答：第6次総合計画は市民との双方向の意見交換、一緒に取り組む大切さを再認識して策定を進める。



質問

福祉避難所は現在 15 施設と協定しているが、被災時は一度学校体育館など指定避難所に行き、避難所運営委員会ができてから移動が認められると聞いた。医療的ケアが必要な重度身体障害者が直接避難できないのか。

回答：施設は国立リハビリセンター、特別支援学校、助産院、障害者・高齢者施設など 15 ヶ所。指定避難所でも生活可能な方を福祉施設で受け入れると必要な方が入れなくなる可能性がある。



重度身体障害者に体育館へ移動させて、市が決めるまで待たせ福祉避難所へまた移動させるという。何時間かかるのか生命の危険を感じる。

「皆が押し寄せたら困る」と言っている場合ではない。現状で医療的ケアが必要な重度身体障害者(高齢者を含む)に対し意向調査をすれば済む。本当に福祉避難所でなければ生活できない対象を明確にし、備えてほしい。

質問

災害時の乳幼児用の備蓄はどうなっているか。また毛布の備蓄数は？

回答：ミルク 2688 回分、オムツ新生児用 1710 個、S サイズ 9630 個、M サイズ 10160 個、L サイズ 10720 個。消費期限を迎えた備蓄品はアルファ米は活用しているがミルク、オムツは廃棄している。毛布は指定避難所 62 ヶ所に 6410 枚、まちづくりセンター 11 ヶ所に 1100 枚、旧第二給食センターに 2210 枚、計 9720 枚を備蓄。



ミルクやオムツを使う保育園、高齢者施設に、市が初回のみ寄付し、施設は日常的に消費、補充、緊急時には供出協力していただくローリング備蓄を進めてほしい。市は「無駄がなく有効な手段だと思うので課題を整理し前向きに検討したい」と答弁しました。

またオムツやミルクを廃棄するのはあまりにもったいない。更新時期を消費期限1ヶ月前にしてフードバンクに寄付すれば有効に使えます。是非とも実行してほしい。また災害時に多様な利用法がある毛布は、福祉施設での備蓄や市民寄付協力など検討してほしいと思います。

Mihoko's essay

福島県南相馬市、浪江町の放射線測定を名古屋のNPOが5年間続けています。12回目の測定ボランティアに参加しました。積み上げられた除染土のコンテナ、仮設住宅、未だ帰還不能な高汚染地域、先が見えない廃炉作業。決して明るいことだけではないけれど。

南相馬市の原ノ町駅そばには市民測定所「とどけ鳥」があり、市民が持ち込む食料、水、土壌を無料で測定してくれます。〇〇県産だから…〇キロ圏内だから…ではなく「測って知る」「わかって食べる」私たちが生活クラブで実践してきたことと同じです。

油はセシウムを通さないので、菜の花プロジェクトが種を蒔き搾油しています。焼酎も同じで紫芋栽培が始まっているそうです。がんばれフクシマと願わずにはいられません。

